



脱走受刑者 逮捕

22日ぶり、広島市内で

「海を泳いで渡った」



平尾龍磨容疑者
(松山刑務所提供)



愛媛県今治市の松山刑務所大井造船作業場から受刑者が脱走した事件で、広島県警は30日、受刑者の平尾龍磨容疑者(27)＝逃走容疑などで指名手配＝を広島市内で確保し、逃走容疑で逮捕した。

平尾容疑者は8日夜に作業場の寮から脱走。現金や衣類が盗まれる被害が相次いだ広島県尾道市の向島に潜伏しているとみられていたが、島から西に約70キロ離れた地点で22日ぶりに確保された。

広島県警などによると、平尾容疑者が見つかったのは、広島市南区の路上。30日正午前に、県警の捜査員が平尾容疑者によく似た男を発見、捜査員が身柄を確保し、指紋などから本人と確認した。調べに対し、島外へは「海を泳いで渡った」と供述しているとい

う。今治市と瀬戸内しまなみ海道で結ばれている向島の北東部では9日以降、山手の民家などから現金や衣類などが盗まれる窃盗被害が7件発生。車上荒らしの現場で平尾容疑者の指紋や一致するDNA型が検出された10日朝以降は痕跡が確認できなかったが、近くの岩屋山(標高約100メートル)に設置された防犯カメラが同容疑者に酷似した不審者の姿を24日夜に捉えていたことが判明。両県警は25日以降、岩屋山を24時間態勢で取り囲み、付近の空き家や山林を集中的に搜索していた。

一方、広島県警には「似た男を見た」などの情報が島外からも含め約400件以上寄せられており、両県警などはこれまでに延べ1万5千人以上の捜査員を動員し、島内外で行方を追っていた。



平尾龍磨容疑者が確保された小学校(右側)わきの路地—30日、広島市南区